

先日は手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録のレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回7月の「てがたん」は6月13日(土)で「初夏のイネ科植物」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のとがたん下見&打ち合わせは**6月6日(土)**です。よろしくお願いいたします。

5月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→手賀沼遊歩道→フジ棚
- 観察日時/天気 2015年5月9日(土) 10:00~12:00 / くもり
- 参加者 15人(一般14人、子ども1人)
- 市民スタッフ 8人(大嶽若緒、蒲田知子、窪田憲史、染谷迪夫、弘實さと子、松村定雄、水上香苗、保田行弘)
- 鳥博職員 1人(村松和行)

観察記録 — 5月に観察した生き物リスト—

【鳥類】

キジ科：キジ/カモ科：カルガモ/カイツブリ科：カイツブリ/ハト科：キジバト/ウ科：カワウ/サギ科：アオサギ/クイナ科：バン、オオバン/
シギ科：タシギ/カモメ科：コアジサシ/カワセミ科：カワセミ/キツツキ科：コゲラ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/
シジュウカラ科：シジュウカラ/ツバメ科：ツバメ/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ウグイス科：ウグイス/メジロ科：メジロ/ヨシキリ科：オオヨシキリ/
ムクドリ科：ムクドリ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/ホオジロ科：ホオジロ

【両生類】

アカガエル科：ウシガエル(幼生)

【甲殻類】

ザリガニ科：アメリカザリガニ

【昆虫・クモ】

チョウ・ガの仲間：ナガサキアゲハ、ジャコウアゲハ、ユウマダラエダシャク、ウンモンズズメ/甲虫の仲間：コガタリハムシ、ナナホシテントウ/
カメムシの仲間：ヨコヅナサシガメ/トンボの仲間：コシアキトンボ、オオヤマトンボ(ヤゴの抜け殻)/バッタの仲間：キンヒバリ(声)/
カマキリの仲間：オオカマキリ

【花】

キク科：ハルジオン、セイヨウタンポポ、カントウタンポポ、オオジシバリ、ジシバリ、ノゲシ/キンポウゲ科：ケキツネノボタン/
マメ科：シロツメクサ、アカツメクサ、コメツブツメクサ、ハリエンジュ/アヤメ科：ニワゼキショウ、トキワハゼ、ムラサキサギゴケ、
キシヨウブ/アカバナ科：アカバナユウゲショウ/アブラナ科：スカシタゴボウ、タガラシ/カタバミ科：カタバミ、オッタチカタバミ/
ツツジ科：オオムラサキツツジ

5月の観察アルバム

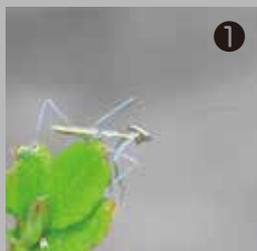


今回のてがたんのテーマは「緑色の季節」でした。新緑の季節ならではの様々な緑色を観察しました。

鳥類はコアシサシが釣り堀に飛び込んで魚を捕まえる姿やオオバンのペアが営巣する様子などが観察できました。



今月の案内人 染谷迪夫さん 蒲田知子さん



1 卵のうから出てきたばかりのオオカマキリ



2 アカメガシワの葉の赤い毛



3 開いたばかりのエノキの葉



4 赤みが強いクスノキの新葉



5 イヌムギの小穂 (黄色く見えるのは葯)



てがたん下見では、まだ田植えは始まっていませんでしたが、当日はきれいに植えられていました。来月のてがたんでは、サギの仲間がたくさん見られるかもしれません。



5月てがたんの観察生物とルート



当日は見られませんでした。下見ではオオバンが営巣していた場所の近くで、ヒナを連れたコバクチョウがみられました。



10 営巣していたオオバン



9 参加者がみつけたオオヤマトンボのヤゴの抜け殻



8 ナガコガネグモ



7 膨らんだノビルをつぼみ



6 咲き始めたハリエンジュの花

今月の鳥 フクロウ (フクロウ科)

博物館で観察しているフクロウのヒナは、おそらく5月末頃には巣立つと思われます。ヒナは十分に飛翔できないうちに巣から落ちるように出ていきます。地面に落ちると敵に襲われないように、すぐに木によじ登ります。

ヒナのあし指はつかむ力が強く、過去には巣箱の入口にあし指をかけてぶら下がったり、大きな幹によじ登ったりする姿が観察されています。

もうすぐヒナたちが巣箱の入口にとまって、外を眺めるようになります。あし指に注目して観察するとおもしろいかもしれません。



入口にぶら下がるヒナ (2014年5月22日)



巣立ったばかりのヒナ (2008年6月12日)